平成29年10月15日執行　鶴岡市議会議員選挙

選　挙　公　報

親身に優しく一身近な相談相手　49歳

地域の声を市政に届けます

日本共産党 菅井（すがい）いわお

【略歴】昭和43年生まれ。昭和62年鶴岡工業高機械科卒業。（株）コンマ製作所に勤務後、農業に従事。鶴岡市農協青年部副部長、農業委員5期15年。現在　鶴岡市議1期。鶴岡生活と健康を守る会副会長。

菅井いわおのお約束

◇身近な相談相手として、地域の要望に耳を傾け、実現にがんばります。
◇国保税の引き下げ、介護保険の負担軽減に全力をつくします。
◇子どもの医療費を18歳まで無料に拡大します。
◇学校給食費の無償化を求めます。
◇農業の後継者育成支援を強め、米の直接交付金の復活を求めます。
◇乗合タクシー、デマンドタクシーなど、地域の交通システムを作ります。

…みなさんと一緒に実現……

◎子どもの医療費が中学3年生まで無料に拡大。
◎住宅リフォーム助成制度で地元に12億円の仕事起こし。
◎福祉灯油の継続　◎就学援助の就学前支給の実現。
◎身近な道路や側溝、遊具の整備など生活環境改善。

日本共産党 坂本まさえ

女性の目で市民の声を市政に届け、市政のチェックを行います。市政と議会の内容を知らせ、身近な議員、相談相手としてがんばります。皆さんのご支援をよろしくお願いします。

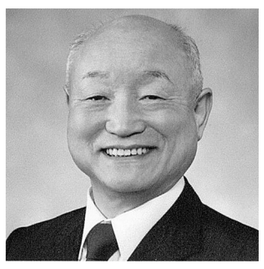
経歴等

昭和38年東京大田区生まれ　第3学区学童保育指導員
鶴岡市第四学区保健推進員会会長　現在　医療生協やまが
た理事　町内会役員　党地区子ども子育て対策委員長

支え合い 共に生きる

私の基本政策

1. 誰もが自立して生活を送ることができるよう支え合いの鶴岡づくりをします
2. 一人ひとりが健康で安心して暮らせる鶴岡をつくります
3. 豊かな自然と元気な産業が共栄する鶴岡をつくります
4. 対話と協働で活力ある地域コミュニティをつくり住み続けられる鶴岡にします
5. 人と情報がつながりあう快適で安全な鶴岡をつくります



佐藤（さとう）ひろゆき

●社会福祉士　●精神保健福祉士　●介護福祉士

私は、一歳の時から自らに障害を負い、民間企業に勤務した二十年間と、福祉施設経営に携わった二十四年間の経験と、東北公益文科大学院で地方自治・行政経営を学んだ知識を基に、今、新潟医療福祉大学院博士課程に在学し、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の国家資格を活かし、支え合い・安心して・いつまでも住み続けられる、持続可能な鶴岡にします。

私のこの４年間の主な実績

苗津町3番地内側溝改修工事完成・日出二丁目荒田公園に簡易トイレ設置・朝暘第二小学校障害者用駐車場青色塗装・日出二丁目地内道路冠水防止工事・七日町通り道路改修工事調査・第二学区コミセン北側側溝グレーチング工事・新文化会館バリアフリー対応の要望実現（段差のない回廊、車いす席８席、重度障害者用トイレ、難視聴者支援設備、傷害児用多目的鑑賞室、託児室等）・羽黒町西荒川地内旧防火用水埋め立て・美原町地内音声式交通信号機取付け・視覚障害者用「声の広報」CD化・地域包括支援センター体制充実強化

プロフィール

●1950（昭和25）寅年生まれ　67歳
●家族/妻・長男夫婦・孫一人
●新潟医療福祉大学院博士課程在学中・東北公益文科大学院修士課程修了・佛教大学社会福祉学科卒業・鶴岡中央高校講師・NHK第17回青年の主張全国コンクール全国大会出場（東北地方代表）・障害者雇用促進協会労働大臣賞受賞・山形放送愛の事業団愛の鳩賞受賞

庄内はひとつ ― 私の決意 ―

中沢ひらく

【経　歴】
●日本大学芸術学部卒業
●昭和49年8月
27歳で鶴岡市議会議員初当選
現在11期目
●山形県空手道連盟顧問
●荘内空手道連盟会長
●鶴岡地区空手道連盟会長

◆鶴岡・庄内が「消滅」しないために

国立社会保障人口問題研究所によると、2040年の推計人口は、鶴岡市9万4,000人、酒田市7万1,000人、庄内町1万4,000人、三川町5,500人、遊佐町8,400人、5市町の合計は19万3,000人。今の人口の3人に1人がいなくなる計算です。人口減少は地域経済の縮小につながり、地域コミュニティーの維持・存続も危うくなります。時代の変化を読み、存在感のある地域の未来、「庄内のグランドデザイン」ビジョンを描く事が大事です。

今庄内5市町は独自で庄内南部、北部での自立圏構築による将来像を描いています。地域間競争を勝ち抜き、世界を相手に戦うための原動力として、今こそ地理的・歴史的にも密接な関わりのある庄内地域が一つになり、5市町がそれぞれ持っている特色や機能を統合強化し農業や観光分野等で庄内ブランドを形成することが必要です。その手段として『庄内はひとつ』となることが肝要であると考えます。

◆世界から人が集まる「Shonai・Tsuruoka（庄内・鶴岡）」を作り上げ、子と孫の世代まで十分な雇用を創出

政府は、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人旅行者数の目標を2020年までに4千万人にすると掲げています。本市には可能性に満ちた観光名所が数多くあります。温泉があり、スキー場があります。私たちが毎日囲まれている極々「当たり前」と思っている田んぼや山・川・海、そしてそこから採れる山の幸、海の幸。広い夜空、美しい雪景色があります。私達には既に「ある」のです。この多くの恵み、宝をいかに使うか、ここに庄内の未来がかかっています。「宝」をつかいこなす教育に力を入れる。庄内ブランドを市民が誇りにし、一致して支える「心意気」。宝を大切に、そして十分活用し、子どもたちに、孫たちに、大きな希望を残そうではありませんか。世界から人が集まる「Shonai, Tsuruoka（庄内・鶴岡）」を創り上げようではありませんか。

私は昭和49年より11期、終始市民の代表として様々な課題に取り組んで参りました。信条であります建前ではなく本音の政治を実行し、熱意と誠意をもって一生懸命頑張りますので、皆様の温かいご理解とご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

「子育てにやさしい街は」人にやさしい！　人の集う街！

無所属 三浦としゆき（49歳）

「幼児教育現場一筋二十九年！」体操のとっち先生、三浦先生として、たくさんのこども達の笑顔と保護者の声、そして日々奮闘する先生方の姿を間近で見て過ごしていました。その間多くの皆様に支えられ、現在は鶴岡市内外の幼稚園・保育園を中心に活動しております。

県外で過ごした経験も合わせて見えてきた、鶴岡の魅力や問題点。わたしはこれらに「子育て環境」「こどもファースト」の目線で取り組んでまいります。

自らが声をあげるだけでなく、市民の皆様の声を聞きに参ります！どうぞ一緒に取り組ませてください！

さっそく！後援会活動で市民の方からお聞きしたこと

★発達の障害などへの早期対応。
★安全・安心な保育環境を整える為に、保育士の確保等、保育政策の推進。
★市内で起きている地域ごとの不公平感。
★子供たちのあそび場の拡充と環境整備。（特に降雨時、降雪時）
★高齢者が免許を返納することへの不安。
★市民も観光客も市内をうまく循環し、楽しむ事ができる施設配置、街づくり。
★議会への不信感・党派バランスへの懸念。
★もっと市民の声を聞いて！市民目線！市民ファースト！で実行して！

○新形保育園
○朝暘第三小学校
○鶴岡市立第一中学校
○県立鶴岡西高等学校
○足利短期大学幼児教育科

☆幼稚園教諭２級
☆保育士資格
☆幼児体育１級指導者

STOP!人口減少、輝く鶴岡を未来を担うこどもたちのために!

佐藤（さとう）文一（ふみかず）（69歳）

心豊かに暮らせる鶴岡を！
元気のある、活力のある三つの地域づくりを目指して
○ 安心とゆとりのある地域づくり
住み慣れた地域で、安心してゆとりをもって住み続けられるように
○ 若者が夢のもてる地域づくり
明日を切り拓く子供達の健全育成と、若者が夢を創造できるように
○ 繁栄する豊かな地域づくり
すべての産業が新しい展開を創造して発展できるように

旺盛な産業活動を通じ、
「住民福祉の向上」や「住民所得の向上と地域の活性化」
を図るために頑張ります。

この選挙公報は、鶴岡市選挙公報発行に関する条例に基づき、
候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。

鶴岡市選挙管理委員会